



令和7年度の教育目標と 教育長・教育委員からお伝えしたいこと

磐田市教育委員会の目標

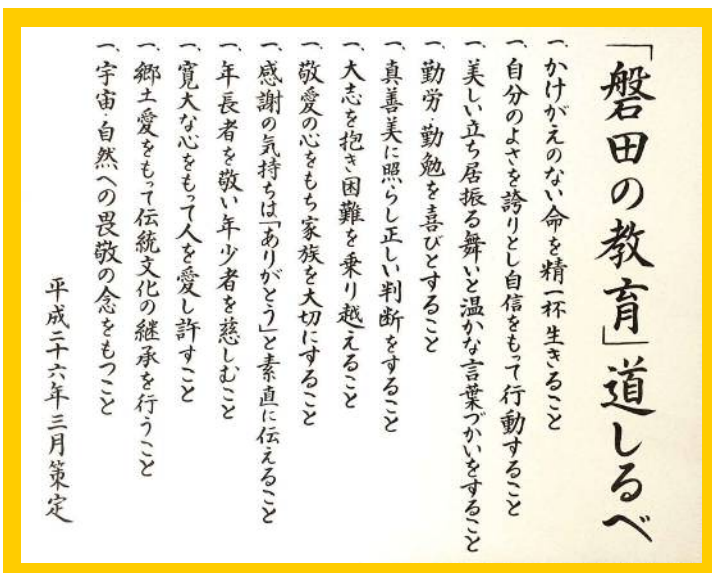
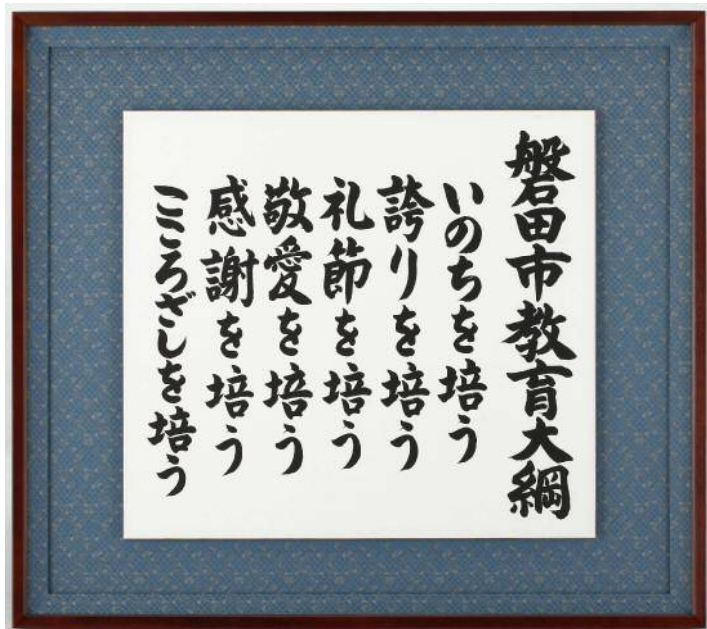
「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「磐田の教育」道しるべ」と、こどもたちの成長を育む「磐田市こども憲章」により進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。



教育長からのメッセージ

「多様性を尊重し合う教育」と「こどもの『育つ力』を信じる教育」

昭和の時代の教育者、東井義雄先生の著書に「培其根」があります。その著書の中に、「根を養えば、樹は自ら育つ。根の深さと広がり、樹の高さと広がりになる」など、先生の教育に対する思いや願いが綴られています。磐田市教育大綱は、全て「～を培う」と表現されており、この「培其根」の理念が込められています。一人の人間としての絶対的価値である「いのち」がまずあり、その一人の人間が前進し成長していくためには「誇り」（自己肯定感）を培う必要がある。さらに、「人と人とのつながり」の中で、「礼節」「敬愛」「感謝」を培い、最後には、自分の夢や希望に向かうというだけでなく、世のため人のために尽くすことが最高の幸せであるという意味で「ころざし」をおき、そんな思いに向かって生きる人間を育成していきたいという願いが込められています。



教育長 山本敏治

「根っこをしっかりと養っていく」ためには、環境づくりが大切です。その環境づくりの中で私が大切であると感じていることは、一人一人が不安を感じることなく、安心して発言や行動をすることができるという「心理的安全性」です。この「心理的安全性」を基盤に、「一人一人の違いを認め合い、多様性を尊重し合う教育」「こどもの可能性、『育つ力』を信じる教育」を展開することで、「人と人とのつながり」がより深まるとともに、「探究的な学び」に代表されるこどもの「やってみよう、ワクワクする学び」が充実し、地域や社会の様々な「人、もの、こと」との出会いから多くのことを学んでいってほしいと願っています。

令和7年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業

教育委員会の目標

「いなかを愛し 未来をひろく 心豊かな磐田市民」

方針1 「生きる力」の育成

「しなやかでたくましい磐田人」を育成するため、多様な他者と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開く「生きる力」を育みます。

施策1 こどもの可能性を伸ばす園・学校づくりの推進

探究的な学びの推進、学府の特色を生かした小中一貫教育、英会話活動、学府バスの運行、コミュニティ・スクール、GIGAスクール構想（1人1台のLTE端末を最大限活用したICT教育）、キャリア教育の推進、主体性を大切に環境を通して行う保育、幼稚園等と小学校との連携推進、食育及び安全・安心な学校給食（地産地消、食物アレルギー対応等）

施策2 「個」に応じたきめ細かな支援・指導の充実

市費負担教員（ふるさと先生）の配置、教育支援員・外国人児童生徒支援員、外国人児童生徒初期支援教室（NIJI）、磐田市教育支援センターにおける支援体制の充実、校内教育支援センターの設置、スクールソーシャルワーカー、いじめ防止対策、要保護児童等対策協議会、医療機関等との連携

方針2 地域コミュニティの活用

「自らのまちは自らの手で」という意識のもと、郷土愛に満ち溢れた「人づくり・地域づくり」を推進し、地域と一体となってこどもの成長を支えます。

施策1 地域の学習資源を生かした教育活動の推進

ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、ジュビロ磐田学校訪問、静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦、伝統芸能等の「ほんもの」に触れる機会の提供、郷土や地域に関する教育、市立図書館を核とした読書活動の推進（磐田市子ども読書活動推進計画・茶の間ひととき読書運動等）

施策2 こども・若者を健やかに育む地域づくり

放課後児童クラブ・放課後子供教室等の児童の居場所づくり、部活動の地域移行（SPO☆CUL IWATAの実施）、磐田スポーツ部活、家庭教育支援の実施、地域によるこども・若者育成支援、高校や大学等との連携した若者の育成、人権教育の推進、共生社会の確立（ジェンダー平等の推進、性の多様性に関する教育）

方針3 学びの場や環境の整備

良質な言葉に多く巡り合い、その言葉を育みながら豊かな人生が送れるよう、市民が活用しやすい「学びの場や環境」の整備を推進します。

施策1 学校（園）環境の充実

学府一体校の推進、地域連携室、公立幼稚園・こども園の再編（一部民営化移行）、校舎や体育館等の計画的な改修・修繕、特別教室等へのエアコンの設置、トイレ改修

施策4 歴史遺産の整備・活用

遠江国分寺跡の整備、文化財の調査・保存・整備・活用、伝統行事の継承支援

施策2 就学のための経済的支援

就学援助費、特別支援教育就学奨励費、私立幼稚園運営費補助

施策5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の環境整備

交流センター講座、「学びの師」や「学びの友」による情報提供、学びの拠点としての大学の活用、外国人に向けた日本語教育の充実、青少年を対象とした文化芸術の育成、スポーツ教室の開催

施策3 図書館サービスの向上

図書館資料・イベント・講座の充実、電子書籍サービスの推進、ボランティア等の育成

教育委員からのメッセージ

「一生懸命努力しても、うまくいかないことがある。」

自分の力で行おうとする心（主体性）と、失敗や困難に直面したときに相談したり助けをもらうこと（対話）ができ、起き上がることができるしなやかさは重要であると考えます。

人と人とのつながり、出会いは想いを持つことで邂逅となります。家族はもちろん、地域の方々や教師から愛されて育ったという感覚は、物事に立ち向かうパワーとなり、心豊かな大人に育つことでしょう。「我達人」です。



鈴木 好美

コロナ禍も明け、以前の様な日常が戻って来ています。こどもは、様々な学びや遊びを通して、知恵や問題解決能力、体力やコミュニケーション力など、多くの生きる力を育みます。その中で、自分が輝けるものや可能性をみつけたり感じたりしていくことでしょう。我々大人は、こどもが自分の意志で自由に学び遊べる環境を、大いに確保してあげたいものです。



秋元 富敏

ほめられたくない、目立ちたくない、埋もれていたい…。最近、こんな若者が激増していると聞きます。浮いたらどうしようといつも考えているそうです。

一方で、授業参観に行くと、手を挙げて発表する子が多く授業が活発なクラスがあります。先生（大人）とこどもたちとのコミュニケーションが取れていて、こどもが先生（大人）を信用していると感じます。

私たち大人も家に帰ったらスマホを置き、こどもたちとの会話を楽しみ、コミュニケーションを取りたいものです。



大橋 弘和

こどもたちの成長過程においては、試行錯誤しながら「新しいことに挑戦する」「協力して作り上げる」「やりたい事に気付く」「疲れたら安心して休む」など、こどもなりの工夫と挑戦、成功と失敗が繰り返されます。決してシナリオ通りではないかもしれませんが、それぞれのペースで成長しています。心身ともに色々な経験を通して、自己肯定感や自己有用感、自己効力感を育んでくれることを願っています。



阿部 麻衣子

磐田市教育委員会から皆様へ

これまでしてきたこと、していること、これからのこと

(令和7年4月現在)

1. これまでに進めてきた主な事業

(1)教育施策と学校教育

- ①小中学校への「ふるさと先生」の配置～市費負担教員による35人学級の実現～（H19～H29）
- ②「ふるさと礎プラン」～校長経験者による若手教員へのサポート体制の構築～（H19～）
- ③学校（福田中・豊浜小・竜洋東小）校舎屋上への津波避難階段の設置（H24）
- ④小中一貫教育を全10学府（中学校区）で実施（H24～段階的に、H28～全学府で実施）
- ⑤校務支援システム（H24指導要録・通信票・出席簿等、H30超過在校時間の管理）を導入
- ⑥小1～中3までの「英語」モデルカリキュラム作成（H25）
- ⑦全小中学校の校舎耐震化（H26）
- ⑧全小中学校にコミュニティ・スクール導入（H27～）
- ⑨食物アレルギー対応の充実（H24～）
- ⑩LD(学習障害)等通級指導教室の拡充（H30～）
- ⑪学校体育館照明LED化、トイレ暖房便座化、普通教室エアコン設置（H30～R1）
- ⑫磐田なかよしこども園の開設（H31）
- ⑬大型モニター・書画カメラを小・中学校全学級へ導入（H29～R2）
- ⑭学校給食における地産地消の推進
- ⑮ながふじ学府小中一体校開校（R3）
- ⑯岩田こども園の民営化（R3）
- ⑰GIGAスクール構想下における1人1台端末の整備（R3）
- ⑱放課後児童クラブ運営の民間委託とサービスの拡充（R7）
- ⑲東部幼稚園の民営化（R7）



放課後児童クラブ



幼稚園の様子

(2)図書館と文化財

- ①磐田市子ども読書活動推進計画・茶の間ひととき読書運動
- ②デジタルデータベース閲覧サービス提供
- ③電子図書館による貸出サービス
- ④学校と連携したながふじ図書館の運営（R3～）
- ⑤図書館公式インスタグラム、LINEアカウントの開設（R4～）
- ⑥セルフ貸出機、ICタグ関連機器の導入（R4～）
- ⑦訪問歴史教室や施設見学・講座の開催
- ⑧指定文化財保存事業（調査及び指定、民俗文化財の映像化）



図書館フェスティバル ものがたりライブ

(3)生涯学習活動

- ①家庭教育支援事業の実施
- ②中学生・高校生ボランティアの育成
- ③「二十歳の集い」の開催
- ④学習交流センターの開放
- ⑤磐田市民文化会館「かたりあ」のオープン（R4）
- ⑥文化芸術のこども向け公演
- ⑦ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦（H23～）
- ⑧静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦（R5～）
- ⑨人権教育の推進に関する講演会・講座の開催



静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦

2. 現在進めている主な事業

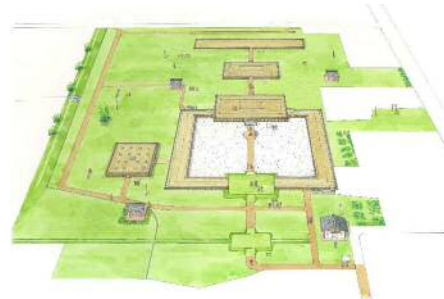
- ①探究的な学びの充実
- ②こどもへのきめ細かな支援（教育支援員・介助員の配置、外国人児童生徒支援の拡充、校内教育支援センターの設置、磐田市教育支援センター（あすなろ）の設置、スクールソーシャルワーカーの配置）
- ③学府の特色を生かした小中一貫教育の充実
- ④地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクールの推進）
- ⑤GIGAスクール構想（1人1台端末）による個別最適・協働的な学びの充実
- ⑥「ふるさと先生」の配置（小中一貫教育の推進と生徒指導の充実）及びふるさと礎プランの実施（若手教員へのサポート体制）
- ⑦子どもの自由な学びを応援する事業（本物の「人」「もの」「こと」に触れる機会の創出）
- ⑧英語を使ったコミュニケーション能力の育成（SPEAKプロジェクト、e-SPEAKプロジェクト、磐田市英会話カリキュラムとモジュール学習）
- ⑨食育学習・箒学習・国際理解教育
- ⑩向陽学府小中一体校整備の推進
- ⑪小中学校の施設整備（屋上防水改修・トイレ改修・特別教室及び体育館へのエアコン設置）
- ⑫放課後児童クラブの待機児童解消に向けた取組
- ⑬豊田北部幼稚園と豊田北保育園の統合・民営化
- ⑭図書館におけるDXの推進
- ⑮電子書籍サービスの充実（小中学校との利用連携の推進）
- ⑯読み聞かせ等ボランティア、視覚障害者サービス協力員の育成
- ⑰図書館フェスティバルの実施
- ⑱遠江国分寺跡（国の特別史跡）の整備
- ⑲旧見付学校附磐田文庫（国の史跡）保存活用計画の作成
- ⑳開発行為に伴う遺跡の発掘調査及び整理作業
- ㉑歴史文書館企画展、古文書ボランティアの古文書解読作業
- ㉒学校出前講座（狂言・落語等を小学校などで鑑賞する講座）



e-S.P.E.A.K プロジェクト



中学校の部活動



国分寺再整備イメージ図

3. これからの課題

- ①学府一体校の推進・教育関係施設のあり方の検討（校舎、プール、学校給食施設）
 - ②園児数の減少が続く幼稚園のあり方の検討
 - ③幼児教育と学校教育の一層の理解に基づいた円滑な接続の推進
 - ④いじめや不登校に対する教育支援体制の充実
 - ⑤休日の部活動の地域移行（SPO☆CUL IWATAの実施）の推進
 - ⑥老朽化の進む図書館施設の計画的な改修計画の検討
 - ⑦文化財関連施設・史跡等の適切な維持管理と利活用の推進
 - ⑧特別支援学校を核とした特別支援教育のあり方の検討
- ⇒生きる力を育み、「しなやかでたくましい磐田人」を育てます

<学府一体校イメージ図>

